



TEIKYO UNIV. BASEBALL 2016

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2016 BASEBALL



● 帝京大学  
硬式野球部

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2016





## 自己革命 *Revolution*

野球とは、相手との闘いではなく、自らとの闘い。

試合が始まる前から、終わった後まで、続いていく闘い。

自問自答を繰り返した拳句、たどり着いた答えは

昨日までの弱い自分との決別——。





## 帝京大学硬式野球部 イヤーブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長  
帝京大学 学長

**冲永佳史**

昨秋、NPB・日本プロ野球、阪神タイガースからドラフト指名された青柳晃洋投手および、大学日本代表候補にも選出された西村天裕投手（NITT東日本）の2枚看板が卒業し、新たな陣容で今シーズンに臨む本学硬式野球部。

今季は『革命・Revolution』のチームスローガンを旗印に、まずは『首都大学野球リーグ』に革命を起こすべくチャレンジしてまいります。

春は恒例の静岡合宿で礎を築き、来たる公式戦に備えてまいりました。大駒の抜けた投手陣ですが、引き続きポテンシャルの高い選手が多数名を連ねております。また新一年生も楽しみみな選手が多く、例年以上にチーム内の競争も激化しているようです。ぜひともリーグ優勝を果たし、全国大会の大舞台で旋風を巻き起こしてくれることを願っております。

最後になりますが、今シーズンも皆様の温かいご声援を本学硬式野球部に賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

帝京大学八王子キャンパス事務長

**古張隆**

昨シーズンは『首都大学野球リーグ』で春季は3位、秋季は5位と、チーム関係者の誰もが不本意なシーズンと感じたことでしょう。しかしながら、今年度は清藤達也主将を中心に上級生がチームを引っ張り、とても良い雰囲気でごここまで来ていると聞きます。日々一

歩ずつの地道な積み重ねを繰り返すことで、さらなる飛躍をしてくれるに違いありません。

この春は2月の中旬より約10日間にわたり、全部員を帯同しての静岡合宿を実施し、チームの結束力も上がってきており、部員を束ねる唐澤良一監督、そして脇を固める渡邊諒介コーチの連携もより強固なものとなっています。まずは4月から行われる『首都大学野球春季リーグ』での活躍を楽しみにしています。

本学硬式野球部のさらなる健闘を祈念し、イヤーブックのご挨拶とさせていただきます。

帝京大学八王子キャンパス  
学生サポートセンター・グループリーダー  
強化クラブ室 副室長

**岡野静治**

昨年のプロ野球ドラフト会議において、硬式野球部の青柳晃洋投手が阪神タイガースから5位指名を受け入団しました。本学から久しぶりのプロ野球選手が誕生しました。厳しいプロ野球界ですが、青柳投手なら必ず活躍してくれると確信しています。彼の今後の活躍を応援すると共に、彼に続くプロ野球界入りを目標に後輩の部員も頑張ってください。

さて、首都大学野球リーグ戦に目を向けると、最近はやがて結果が続いている。今季のリーグ戦も混戦が予想されます。しかし、優勝できる戦力はあるはず。優勝を目標に日々、厳しい練習に取り組んでいることと思います。選手個々の力とチーム力を向上させ、練習の成果を試合で発揮してほしい。新入部員が加わり、部内での新たなレギュラー争いを展開しながら新チームを作ってください。勝利の喜び、敗戦の悔しさを噛みしめ、優勝に飢えた戦士になってほしい。全員野球で首都大学野球リーグ優勝を勝ち取り、全国大会に進出する日を待っている。



からさわ りょういち  
1969年生まれ。大阪府出身。  
上宮高→帝京大→東芝(内野手)。  
帝京大学硬式野球部のOBで1999年から同部のコーチとして12年間指導する。2011年より監督に就任。今年で6年目のシーズンを迎える。

帝京大学硬式野球部監督

## 唐澤良一

# 「進学前に身に付けよう！ 高校生に伝えたい5つのポイント」

今年で就任6年目を迎える唐澤良一監督。硬式野球部のコーチとして12年間、監督として6年間、人生のほぼ半分以上を大学野球とともに過ごしてきた。そんな唐澤監督に大学進学を希望する高校生に伝えたいポイントはどこか訊いてみた。

取材・構成=大利実

### Karasawa's CHECK POINTS 私がチェックする5つのポイント

#### Checkpoint 1

★会話が出来る選手は魅力あり

高校生を見るときは、第一印象を大事にしています。グラウンドの入り方、ユニフォームの着こなし、アップの取り組み。雰囲気のある選手は、こういうところから存在感が出ているものです。指導者の許可のもと、選手と話をすることもありますが、会話がしっかりとできる選手に魅力を感じます。「ハイ」と返事をするだけではなく、「質問ありますか?」と聞いたときに、質問が返ってくる。ぜひ、自分の言葉で話す習慣を身に付けてください。

#### Checkpoint 4

★高校野球は通過点

最終目標をどこに置くかで、野球に対する取り組み方が変わってきます。高校生の多くは「甲子園に出たい」と思っていることでしょう。でも、甲子園しか考えていないと、3年生の夏が終わったときに燃え尽きてしまう可能性があります。実際に、そういった高校生を目にしてきました。甲子園をめざすのはもちろん大事なことです。野球人生においては通過点。先の先を見据えながら、高校野球に取り組んでほしいと思います。

#### Checkpoint 2

★ひとつの武器を磨く

技術的な部分をいえば、何かひとつ、ほかの選手には負けない武器を作ってほしいと思います。足だけはめちゃくちゃ速い、振る力だけはずば抜けている、小細工なら絶対の自信がある、ストレートの球速が武器といった選手です。部員数が多い大学野球に飛び込んだときに、自分が勝負する場所が見えてきます。監督の立場からしても、走攻守すべてが平均点の選手は、「何がいいのかな?」と見えてこないこともあるのです。

#### Checkpoint 5

★大学野球のおもしろさ

最後に、大学野球のおもしろさについてもお伝えしておきます。一発勝負の高校野球と違って、大学野球は勝ち点制度を採用しているリーグが多く、3試合制の中で2勝取ったほうが勝ち点1を獲得。負けて終わりではなく、負けたあとの取り組み方、粘り強さが求められるのです。また、全国からいろいろな考えを持った選手が集まり、彼らがひとつの組織となって目標に向かっていきます。人間的な幅を広げられる場所でもあるのです。

#### Checkpoint 3

★伸びる条件は「意欲」

大学で伸びる選手に共通しているのは、「意欲」を持っていることです。たとえば、昨秋、阪神タイガースから5位指名を受けた青柳晃洋投手は、うちに入るときから「絶対にプロに行く!」と高い意識を持っていて、その気持ちで4年間継続していました。なかには「できればプロ(社会人)に行きたい」という選手がいますが、「できれば」と言っているうちは無理。目標を「絶対に達成する」という強い意欲が、人を成長させます。



# 「将来は学生野球の監督に！」

取材構成 大利実

# 学生コーチからめざす指導者への道

明日の学生野球の指導者をめざし、選手ではなく学生コーチという道を選んだ渡邊諒介と赤津耀祐。彼ら二人は何を見据え、何を考え、将来の夢を叶えようとしているのか。各々の考えを訊いた。

## ★「こいつに任せて大丈夫」

大学一年生の冬に、唐澤監督がコーチから監督に昇格。もともと、教職資格を取って指導者になりたいと思っていたのですが、そのときに足をけがして、い

「学生コーチをやらないかと声をかけていただきました。ただ、選手として勝負したい気持ちがあつたので、1年間選手でやらせてください」とお

願いました。学生コーチになる決断をしたのは、二年生の11月。僕の同級生が秋のリーグ戦でシヨートのレギュラーを獲得したのを見て、「もう、こいつに任せておけば

大丈夫」という気持ちが強くなった。関東大会で負けたその日に、「学生コーチをやらせてください」と唐澤監督に伝えました。

## ★「自分」のためではなく「人」のために

学生コーチを2年間やらせてもらって、イチ選手では味わえない経験をすることができました。今、コーチという立場になり、このときの経験が生きています。選手のとときは自分中心で、自分がうまくならないから練習をしている。これが本音です。でも、学生コーチになると自分ではなく、誰かのためにやるのがほとんど。自分を犠牲にしてチ

## ★自分自身の「芯」を持つ

学生コーチを経験したことで、野球へのかかわり方はプレーヤーだけではなく、監督になりました。学生コーチやマネージャーをやることは、必ず自分の人生にもプラスになります。大学野球には、さまざまなモチベーションを持った選手がいます。本気でプロ野球や社会人野球をめざしている選手もいれば、けがをしたり、レベルの高さを感じて、気持ちが落ちていくこともある。

チームに携わる中で、「自分をしっかりと持った選手」は最後まで高いモチベーションでやり続けているように感じています。芯を持っているといえればいいでしょうか。高校生にはまだ難しいことかもしれませんが、目標をしっかりと立てて、強い自分を作りたいと思います。



元帝京大学  
学生コーチ

現  
帝京大学  
コーチ

# 渡邊諒介

RYOSUKE WAKAI



渡邊コーチが指導に際し参考にした一冊  
「二流選手から一流指導者へ」  
伊原春樹 著  
(ベースボール・マガジン社)

## ★裏方の経験が将来に生きる

大井川高校(静岡)という普通の県立校出身です。高校で野球を辞めるつもりでいたのですが、高校のコーチが唐澤監督と仲がよくて、「学生コーチとしてうちでやらないか」と話をいただいたんです。

将来は高校で指導者になりたいという思いがあります。レベルの高い大学で学生コーチを経験することは、将来にも役立つこと。ただ、正直に言えば、強い高校での野球を経験していない僕が、どれだけサポートできるか不安がありました。立場としては、選手よりも上にならないければいけないわけです。でも、唐澤監督と話したときにマネージャーや学生コーチをととても大切にしていることが伝わってきて、決断することができました。

## ★コーチ人生を変えた監督の言葉

二年生になったとき、唐澤監督からかけていただいた言葉を今も覚えています。

「学生コーチには選手よりも上の権限を与えているんだから、選手に嫌われるようなことを言わなければいけない。嫌われることを怖がらないでやらないとダメだ」

厳しいことを言えない自分がいました。嫌われるのが怖い。

それでは学生コーチとしてやっていけないことを教えていただきました。

仕事はアップを見たり、ノックを打ったり、ネットの補修をしたり、いろいろとあります。チーム全体での役割は、監督・コーチと選手の間に入ること。指導者の考えを選手に伝え、選手の想いを指導者に伝えていく。今、最上級生になり、大変さを改めて感じています。

## ★選手との対話を大切に

手を動かすことができるか。自分のことではなく、全体を見るように心がけています。選手時代とは違った視点で、野球を見られるようになりました。もし、練習で気持ちが落ちてくる選手がいれば、寮の部屋や風呂で話をするようにしています。そうなるには必ず原因があるもので、悩みがあれば聞いてあげる。こいつだったことも、学生コーチだからできる仕事だと思っております。

## ★選手との対話を大切に

渡邊コーチがおっしゃったように、学生コーチの経験はプラ

スになることばかりです。もちろん怒られることもあります。それも含めて人間的に成長できると実感しています。



赤津学生コーチが指導に際し参考にした一冊  
「『当たり前の積み重ねが、本物になる』」  
荒井直樹 著  
(カンゼン)

YOSUKE AKATSU  
元帝京大学  
選手

現  
帝京大学  
学生コーチ

# 赤津耀祐

(四年)





# 「僕が心がけている7つのポイント」

帝京大学硬式野球部主将  
**清藤達也**

大学4年目を迎えた今年、主将として打線の中心として期待される。そんな彼がこの4年間で心がけてきたことは何かを訊いた。

## Point 1 キャプテンシー

自分から率先してやることで仲間もついてくる。

中学は副主将、高校と大学で主将を任せられました。自分でもなぜかは分からないですけど、これまでも何かと役職に就くことが多かった。自分は言葉で何かを伝えるのが苦手、率先して何かをやって背中を見せるタイプです。練習もそうだし、声出しもですけど、自分から率先してやって、周りにもついてきてほしいというも考えています。口で言う前にまず自らの行動で。それをいつも心がけています。

## Point 2 練習への意識

自主練習は日々休まずに感覚を体に染み込ませる。

中学、高校とずっと自主練習は続けてきました。それで結果も出て、自分でも成長できたと感じているので、大学に入ってからもういう習慣が体に染みついている気がします。何かやらないと気が済まないといいますか、それをやらないと一日が終われない感じです。バットを置いて休むのも時には必要なんですけど、そういうときはノックをしたり、走ったり、何かしらで体を動かしています。

## Point 3 メンタル面

チームメイトに相談して気分転換。

周りの人にも言われるんですけど、自分は結構、ストレスなどを内にとめ込んでしまうタイプなんです。調子が上がってこなくて試合で打てないときも、あまり人には言えないです。以前はそれで気持ちの切り替えが上手くできなくて引きずったりもしたんですけど、自主トレを普段一緒にする仲間（四年生の浅井拓や小山優樹）に相談することで、前向きな考えになることができました。

## Point 4 学業との両立

大学の授業は野球にも、将来の自分にも生かせる。

大学生活は一年生のころから授業をしっかり受けて、単位を早めに取り終えるようにしました。硬式野球部は朝、全員でクラブのバスに乗ってキャンパスに行って、夕方に寮へ帰ってくるので、その間はできるだけ授業を詰め込みました。そうすることで後から野球に専念できると考えたんです。大学の授業は、心理学や指導者論や公務員になるためのものが多いんですけど、そうしたものは野球にも、自分の将来にも役立つことだと思うので、しっかりノートをとって、今後の人生でも生かしていこうと考えてやっています。

## Point 5 体調管理

専属トレーナーの適切なケアで故障から早期回復。

大学三年生のとき、関東大会の前に腰を痛めました。痛めた直後はトイレに行くのでも、片道20分くらいかかるほどで、這って行くほどの状態でしたが、硬式野球部専属のトレーナー（内田幸一先生）がストレッチや体幹メニューなどをリハビリ中に教えてくださって、元々は全治1カ月以上かかる予定だったのが、それよりも早く復帰することができました。大学や部のサポートのおかげだと思っています。

## Point 6 食事面

間食は食べるものを考える。

硬式野球部の食事はバイキング形式なので、基本好きなものを好きなだけ食べることができます。ただし、それだと栄養が偏ってしまうので、不定期に来てくださる大学の栄養学の先生にもアドバイスを受けて、その都度、足りない栄養素を補給しています。僕は甘いものが好きではないので間食でお菓子自体食べることはないのですが、適度に糖分は摂りなさいと子どものころからずっと言われてきたので、たまにチョコレートを食べる程度にしています。なので間食は基本的にプロテインやサプリメント、おにぎりなどにしています。

## Point 7 バッティング

左の股関節から右の股関節に力を移してバットを振る。

バッティングは軸足に乗せた体重をステップでしっかり乗せて、打つときに左の股関節から右の股関節に力を移して、それに伴って上半身が出てくるようにバットを振っています。軌道はVの字ではなく水平に。上からは叩かず、左の脇を締めてパンチを出すようなイメージです。今年はしっかりボールを見極めて、甘いボールを一発で仕留めるようなバッティングがしたいです。それと春のリーグ戦を優勝して東京ドーム（全日本大学選手権）に行きたいです。個人の成績よりも、とにかくチームで勝ちたいです。











# ユニフォームに袖を通さない、チームの要たち

主務

藤野直仁 (三年)



唐澤監督が2011年に就任して以来、重要視しているのが男子マネージャーの存在だ。現在は新三年の藤野直仁(京都両洋)、二年の青山拓弥(愛知・東邦)、一年の四條尚彦(神奈川・向上)が在籍し、チームを支えている。

「組織を作る上で、マネージャーの存在は必要不可欠。マネージャーがしっかりしていないと、

取材文：大利実

硬式野球部を緑の下から支えるマネージャーたち。もしかしたら、唐澤監督は選手以上にマネージャーの採用を重視しているのかもしれない。彼らが担う、チームへの影響力とは。



組織は回っていきません」

有望な選手をリクルートすると同様、敏腕マネージャーの存在にも目を光らせる。新入生の四條は、本格的な野球の経験がなく、向上に入學したときからマネージャーを務めてきた。「お客さんに対する接客の雰囲気がよく、愛想もいい。私が大事にしている素直さ、謙虚さ、ほがらかさを持った学生でした」

四條が高校二年生のときに、すでに声をかけている。現在、主務を務める藤野に対して、早い段階から魅力を感じ、「うちでマネージャーをやらなにか」と熱い想いを伝えた。藤野は京都両洋の出身。二年生の新チームが始まったときにはキャプテン・キャッチャーを任されていたが、冬のトレーニング中にアキレス腱を切ってしまう、選手としての道を断念した。

「高校のコーチから『マネージャーでチームを支えてみるのはどうだ?』と声をかけてもらいました。将来はトレーナーになりたいと思っていたので、役に立つことがあるんじゃないかと。三年生になってからは、選手、学生コーチ・マネージャー・キャプテンの4役でした」

野球は高校で辞めるつもりだった。そんな藤野を誘ったの

が唐澤監督だ。

「ほかの大学からもマネージャーとして誘いがあつたんですけど、最初に声をかけてくれたのが唐澤監督。グラウンドにも何度も来てくださって、熱い気持ち伝わってききました」

その決断は間違いではなかった。現在は寮の環境整備、書類整理、オープン戦の日程調整、会計管理など、さまざまな仕事を受けて持っている。

藤野は選手とはまた違った柔らかな表情をしていて、落ち着きがある。大学生というよりは、すでに社会人としての大人っぽさを感じるほどだ。

「やりがいを感じています。高校時代は、選手がうらやましいと思っていたんですが、今はその気持ちはありません。選手のために何か役に立ってれば、それで十分。『ありがと』『や』『頑張っているな』と言ってもらえたとき、やっていて良かったなと感じます」

日々心がけているのは、自ら実践すること。選手に指示を出すにしても、自身がしっかりとした生活を送っていないければ、説得力がなくなるからだ。

ユニフォームを着て戦うだけが大学野球ではない。マネージャー、そして学生コーチ(P8~9参照)の存在が帝京大学硬式野球部をより強くする。

## INTERVIEW

### 部長 野尻久雄 帝京大学の「強化クラブ」である誇りを持って

今年が大学の創立50周年ですので、硬式野球部としても何とか花を添えようね、と話しています。今年の一年生もそうですけれど、毎年、素晴らしい選手がたくさん入って来ます。あとは我々指導者が、個々の能力を引き出して伸ばすという教育力をもっと上げて、チームを強固なものにしていきたいですね。完璧な選手というのはいません。ですから、可能性を広げてあげる、自信をつけさせてあげる、そういったサポート体制をもっと作っていきたく思います。

さないんです。僕らは高度成長期に育った人間なので、やはり「競争」というのが色濃くありました。僕自身は露骨な競争はあまり好きではないのですが、やっぱり「負けたくない」「頑張るぞ」という気持ちは大事。今の学生たちもそういった気持ちは持っているでしょうけれど、もっと前面に出してプレーしてもらえればと思います。そして、切磋琢磨しながらチーム全体で向上してほしい。唐澤監督も、気持ちは前面に出る選手は好きですよ(笑)。

何よりも意識してほしいのは、帝京大学の「強化クラブ」であるということ。一人ひとりが大学の看板を背負っているんだという意識を持って頑張してほしいです。

#### 【PROFILE】

のじり ひさお  
医学博士。薬学部で生命薬学講座細胞生物学研究室の教授を務めるかたわら、硬式野球部の部長を兼務。大学時代は外野手としてプレーした





# 群雄割拠 首都大学

# リーグは今年もアツい!

年間スケジュール  
Annual schedule



## 帝京大学が所属する首都大学野球連盟とは

首都圏近郊に所在する15大学で構成される全日本大学連盟の傘下組織である。2016年から1部6大学、2部9大学に改編されて、公式戦は春季と秋季にリーグ戦がそれぞれ行われている。また各リーグ戦の終了後に1部と2部の入れ替え戦も行われている。

春季リーグ SPRING			
試合日	対戦相手	結果	スコア
4/11	日本体育大学	●	4-5
4/12	日本体育大学	○	3-2
4/18	東京経済大学	○	10-3
4/19	東京経済大学	○	5-1
4/25	筑波大学	○	5-4
4/26	筑波大学	●	0-3
5/2	城西大学	○	9-4
5/3	城西大学	○	3-2
5/9	獨協大学	○	6-3
5/10	獨協大学	○	8-0
5/16	桜美林大学	●	0-3
5/17	桜美林大学	●	0-3
5/23	東海大学	●	2-3
5/24	東海大学	○	2-1

秋季リーグ AUTUMN			
試合日	対戦相手	結果	スコア
9/5	東京経済大学	●	1-2
9/6	東京経済大学	●	1-2
9/12	大東文化大学	●	1-3
9/13	大東文化大学	○	4-3
9/19	日本体育大学	○	2-1
9/20	日本体育大学	○	3-0
9/26	東海大学	●	2-3
9/27	東海大学	○	2-1
10/3	桜美林大学	●	0-1
10/4	桜美林大学	○	4-2
10/10	城西大学	○	4-0
10/12	城西大学	●	1-2 ※10/11の振替
10/17	筑波大学	●	3-5
10/18	筑波大学	○	5-4

2015 RESULT

## SPRING APRIL >> MAY

### 春季日程(帝京大学のみ)

※試合開始時間は、当日の前の試合の終了時間で変更あり。

4/2(土)	筑波大学	13:00	ひらつか
4/3(日)	筑波大学	9:30	ひらつか
4/9(土)	桜美林大学	14:30	ひらつか
4/10(日)	桜美林大学	12:00	ひらつか
4/16(土)	予備日	—	大田
4/17(日)	予備日	—	大田
4/23(土)	日本体育大学	12:00	相模原
4/24(日)	日本体育大学	9:30	相模原
4/30(土)	東海大学	14:30	大和
5/1(日)	東海大学	12:00	大和
5/7(土)	予備日	—	川口
5/8(日)	予備日	—	川口
5/14(土)	城西大学	14:30	大田
5/15(日)	城西大学	12:00	大田
5/21(土)	予備日	—	相模原
5/22(日)	予備日	—	相模原

### 球場アクセス

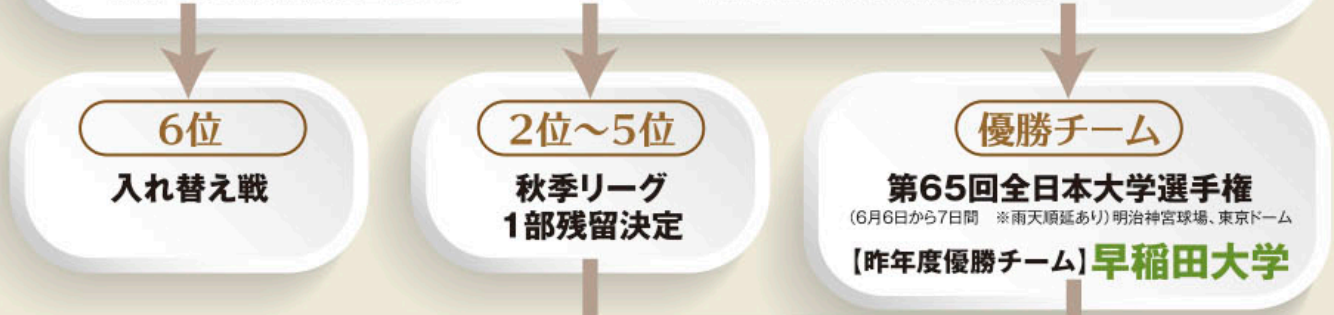
- スタジアムひらつか**  
●JR「平塚」駅より徒歩20分  
●JR「平塚」駅北口よりバス4号線「平塚球場」下車
- 大和引地台野球場**  
●小田急江ノ島線「桜ヶ丘」駅より徒歩15分  
●小田急江ノ島線・相鉄本線「大和」駅より徒歩約20分  
●大和駅南口より大和市コミュニティバス(のろっつ)「南部ルート」で「引地台公園」下車徒歩2分
- 川口市営球場**  
●JR京浜東北線「西川口」駅下車。東口よりバス「東浦和行」で「青木公園」下車徒歩3分  
●JR京浜東北線「川口」駅下車。東口よりバス「鳩ヶ谷公園住宅行」「新井宿駅行」「東川口南口行」のいずれかで「青木公園入口」下車徒歩3分
- サーティーフォー相模原球場**  
●JR「淵野辺」駅南口よりバス「淵野辺公園」下車  
●JR「相模原」駅南口よりバス「淵野辺公園」下車  
●小田急線「相模大野」駅北口よりバス「淵野辺公園」下車
- 大田スタジアム**  
●東京モノレール「流通センター」駅より徒歩15分  
●JR「大森」駅東口から京浜急行バス「平和島循環」「京浜島循環」で「倉庫センター」下車徒歩10分

### 順位決定方式

1部リーグ(2戦勝ち点制)の順位は勝ち点をもって決定する。勝ち点は相手チームに2勝した場合に1とし、最終的に勝ち点と同じ場合には勝率をもって決定する。同点同率の場合は当該チーム同士の対戦にて勝ち点を挙げた方を上位とする。

### 予備日について

1部リーグは第3週、第6週、第8週の土日を予備日として、原則平日には試合を開催しない。なお、予備日以外にも学生野球憲章の趣旨から逸脱することなく、学生の授業を受ける権利に支障をきたさない範囲で、祝日その他の平日開催も実施する。



## AUTUMN SEPTEMBER >> OCTOBER

**参加チーム**  
・春季リーグ1部の1位~5位  
・入れ替え戦の勝者

**優勝、準優勝チーム**

3位~5位: 1部残留 6位: 入れ替え戦

**第47回明治神宮野球大会**  
(11月中旬ごろ予定)  
【昨年度優勝チーム】**亜細亜大学**

**優勝、準優勝チーム**  
横浜市長杯争奪  
**第12回関東地区大学野球選手権大会**



相談役・コーチ  
**宮台 俊郎**

### 次世代を担う君たちへ

PROFILE

みやだい しろう  
1949年生まれ。神奈川県出身。帝京大学硬式野球部の2期生でクラブ創生期を支えた。同部の監督を務めたこともあり、現在は相談役として部を支える。

昨年、50周年を迎えた首都大学野球連盟は、本年度より次の50年に向けた新たな一歩を踏み出します。これまでの選手、スタッフが築き上げた伝統や記録はかけがえのないものであり、本当に素晴らしいものでありますが、今年度を戦う現役の選手、そしてスタッフの方々にはそれを引き継ぎ、より発展させていってほしいです。

私は首都リーグが発足した1964年から4年後の1968年に、帝京大学硬式野球部の2期生として入部し、四年生の春にリーグ優勝。卒業後は監督として携わり、再び優勝を経験することができました。現在は部の相談役としてベンチから選手たちの活躍を見守っています。

野球に打ち込む彼らの姿を見て素晴らしいと思うことも多々あるのですが、卒業後も野球に携われるのはほんの一握りなのも現実です。大学で過ごす4年間は学生にとって生涯の友と出会う期間でもありますし、私自身もこれまでの半生を振り返り、そう感じています。クラブやバットを持っている期間よりも、置いてからの期間の方がずっと長いのです。そのことを常に頭の中で考え、卒業後、社会に出て真の活躍をしてみたいと思います。



# 2016年 帝京大学 硬式野球部 プレーヤーズリスト

## PLAYERS LIST 2016

TEIKYO UNIVERSITY BASEBALL CLUB



INFIELDER  
内野手



PITCHER  
投手

- 住友 龍志** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
RYUJI SUMITOMO 市立船橋高/千葉県出身 179cm・78kg/右投 右打/遊撃手
- 増田 一樹** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
KAZUKI MASUDA 相模向陽館高/神奈川県出身 182cm・83kg/右投 右打/三塁手
- 蛭名 教博** [2年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAKAHIRO EBINA 青森山田高/青森県出身 173cm・70kg/右投 左打/二塁手
- 田中 京介** [2年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
KYOSUKE TANAKA 遠賀学園高/大阪府出身 186cm・115kg/右投 右打/三塁手
- 中村 郁人** [2年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
AYATO NAKAMURA 聖望学園高/埼玉県出身 174cm・75kg/右投 右打/遊撃手

- 山口 達也** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TATSUYA YAMAGUCHI 横浜商業高/神奈川県出身 181cm・80kg/右投 右打/遊撃手
- 米田 寛人** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
HIROTO YONEDA 広陵高/広島県出身 180cm・90kg/右投 右打/三塁手
- 安随 広樹** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
HIROKI ANZUI 聖望学園高/埼玉県出身 183cm・82kg/右投 左打/一塁手
- 柏野 拓哉** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAKUYA KASHINO 玉野光南高/岡山県出身 166cm・65kg/右投 右打/三塁手
- 河原 龍義** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
RYUKI KAWAHARA 豊ヶ浦高/茨城県出身 166cm・63kg/右投 左打/二塁手

- 浅井 拓** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
HIROMU ASAI 向上高/神奈川県出身 183cm・80kg/右投 左打/遊撃手
- 小山 優樹** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
YUKI KOYAMA 習志野高/千葉県出身 170cm・70kg/右投 右打/二塁手
- 清藤 達也** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TATSUYA SEITOH 東奥義塾高/青森県出身 176cm・76kg/右投 左打/二塁手
- 松岡 孝典** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAKANORI MATSUOKA 京都両洋高/大阪府出身 177cm・75kg/右投 右打/三塁手

- 黒田 架瑠** [2年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
KAKERU KURODA 千葉経済大学附属高/千葉県出身 176cm・85kg/右投 左打
- 美濃部 尚己** [2年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
NAOKI MINOBE 近江高/滋賀県出身 182cm・83kg/右投 右打
- 塚畝 諒** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
RYO TSUKAUNE 麗正社高/大阪府出身 179cm・76kg/右投 右打
- 西川 拓馬** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAKUMA NISHIKAWA 日本大学藤沢高/神奈川県出身 180cm・82kg/右投 右打
- 原田 海都** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
KAITO HARADA 市立川越高/埼玉県出身 175cm・75kg/右投 右打

- 廣畑 敦也** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
ATSUYA HIROHATA 玉野光南高/岡山県出身 174cm・70kg/右投 右打
- 横山 駿斗** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
SHUNTO YOKOYAMA 神戸国際大学附属高/兵庫県出身 178cm・75kg/右投 右打
- 羽藤 樹生** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
JUO HATOH 玉野光南高/岡山県出身 174cm・74kg/右投 右打
- 林田 竜郎** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TATSURO HAYASHIDA 大阪商業大学堺高/大阪府出身 181cm・82kg/右投 右打



CATCHER  
捕手

- 田島 匠** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAKUMI TAJIMA 聖望学園高/新潟県出身 178cm・74kg/左投 左打
- 田嶋 優樹** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
YUKI TAJIMA 県立和歌山商業高/和歌山県出身 181cm・83kg/右投 右打
- 南木 良隆** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
YOSHITAKA NANMOKU 横浜高/神奈川県出身 171cm・70kg/左投 左打

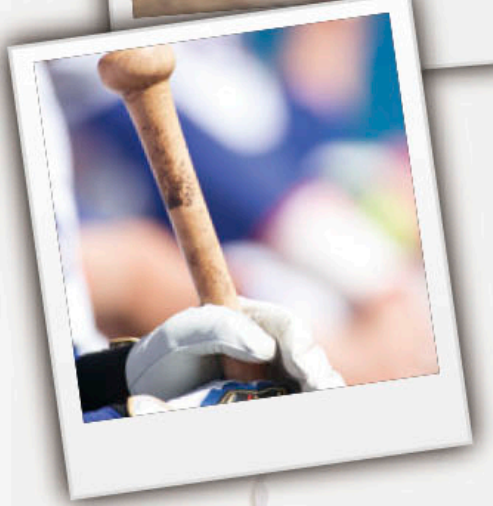
- 山頼 建太** [2年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
KENTA YAMATSURA 金光大阪高/大阪府出身 173cm・76kg/左投 左打
- 米村 遥己** [2年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
HARUKI YONEMURA 八千代松陰高/千葉県出身 178cm・76kg/右投 左打
- 大深 稜** [1年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
JO OFUKA 広島新庄高/広島県出身 178cm・68kg/右投 右打

- 塚口 大樹** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
DAIKI TSUKAGUCHI 市立船橋高/千葉県出身 180cm・77kg/右投 右打
- 本野 一哉** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
KAZUYA MOTONO 金光大阪高/大阪府出身 173cm・68kg/左投 左打
- 臼井 直哉** [2年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
NAOYA USUI 上溝南高/神奈川県出身 181cm・70kg/右投 右打

- 三浦 慎道** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
MASAMICHI MIURA 甲府工業高/山梨県出身 175cm・74kg/右投 右打
- 小倉 大生** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAISEI OGURA 岡山学芸館高/岡山県出身 180cm・78kg/右投 右打
- 菊地 丈留** [3年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAKERU KIKUCHI 帝京高/埼玉県出身 173cm・76kg/左投 左打

- 板野 拓耶** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAKUYA ITANO 武相高/神奈川県出身 180cm・78kg/右投 右打
- 松本 匠** [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科  
TAKUMI MATSUMOTO 学法石川高/福島県出身 179cm・84kg/右投 右打





AYUMI WAKABAYASHI  
広尾高/東京都出身  
156cm



SHUNYA SEKI  
静岡学園高/静岡県出身  
171cm・72kg



KANA KIDERA  
横浜商科大学高/神奈川  
川県出身



MOMOKA MURAI  
県立瀬谷高/神奈川県出  
身



NAOTO FUJINO  
京都両洋高/兵庫県出身  
172cm・74kg



TAKUMI AOYAMA  
東邦高/愛知県出身  
171cm・66kg



NAOHIKO SHIJO  
向上高/神奈川県出身  
168cm・90kg



FUMA TAKADA  
横浜隼人高/神奈川県  
出身



NATSUMI MORI  
横浜市立南高/神奈川  
県出身

藤野直仁 主務

医療技術学部スポーツ医療学科  
[3年]

青山拓弥 副務

医療技術学部スポーツ医療学科  
[2年]

四條尚彦 マネージャー

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

高田風舞 マネージャー

医療技術学部スポーツ医療学科  
[4年]

森夏美 マネージャー

経済学部経済学科  
[3年]



RYOSUKE TSUJI  
PL学園高/大阪府出身  
180cm・73kg/右投  
右打



YOSUKE AKATSU  
大井川高/静岡県出身  
177cm・70kg/右投  
右打



DAISUKE AKIYAMA  
帝京第三高/千葉県出身  
159cm・59kg/右投  
両打



TAKEHIRO OHTA  
学法石川高/福島県出身  
182cm・65kg/右投  
右打

辻涼介

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

赤津耀祐 学生コーチ

医療技術学部スポーツ医療学科  
[4年]

秋山大輔 学生コーチ

経済学部経済学科  
[1年]

太田健裕 学生コーチ

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]



DAISUKE YASUNAMI  
山梨学院大学附属高/  
神奈川県出身  
174cm・76kg/右投  
左打



KEIYA ITOKAWA  
志学館高/千葉県出身  
183cm・83kg/右投  
右打



RYODAI TERAMOTO  
金光大阪高/大阪府出身  
174cm・74kg/右投  
右打



RYOTA IKEDA  
奈良大学附属高/奈良  
県出身  
185cm・83kg/左投  
左打



SATOSHI KINA  
岡山芸芸高/沖縄県  
出身

安並大輔

医療技術学部スポーツ医療学科  
[3年]

糸川慶哉

医療技術学部スポーツ医療学科  
[2年]

寺本涼大

医療技術学部スポーツ医療学科  
[2年]

池田陵太

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

喜納智志

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]



TSUYOSHI JITSUKAWA  
市立船橋高/千葉県出身  
175cm・72kg/左投  
左打



TOSHIAKI ISOBE  
横浜商科大学高/神奈  
川県出身  
180cm・76kg/右投  
右打



KOHEI IWATA  
県立和歌山商業高/和  
歌山県出身  
178cm・78kg/右投  
左打



KAZUYA KINOSHITA  
横浜隼人高/神奈川県  
出身  
171cm・72kg/左投  
左打



DAIKI MATSUMOTO  
PL学園高/大阪府出身  
178cm・78kg/右投  
左打

實川剛

医療技術学部スポーツ医療学科  
[4年]

磯部知明

医療技術学部スポーツ医療学科  
[2年]

岩田康平

医療技術学部スポーツ医療学科  
[3年]

木下和哉

医療技術学部スポーツ医療学科  
[3年]

松本大輝

医療技術学部スポーツ医療学科  
[3年]



KATSUMI YONEZAWA  
金光大阪高/兵庫県出身  
179cm・72kg/右投  
右打/遊撃手



SHOKI IKEJIRI  
県立和歌山商業高/和  
歌山県出身  
176cm・73kg/右投  
右打



MASASHI KUME  
近江高/滋賀県出身  
168cm・64kg/右投  
右打



KAZUMA SAWADA  
京都翔英高/京都府出身  
177cm・72kg/右投  
左打

米澤克実

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

池尻翔紀

医療技術学部スポーツ医療学科  
[4年]

久米将司

医療技術学部スポーツ医療学科  
[4年]

澤田和馬

医療技術学部スポーツ医療学科  
[4年]



SUGURU OKADA  
横浜隼人高/神奈川県  
出身  
177cm・75kg/右投  
右打/三塁手



KOKI SATO  
市立船橋高/千葉県出身  
174cm・72kg/右投  
左打/二塁手



KEITA SHIMOSAKO  
滋賀学園高/兵庫県出身  
168cm・70kg/右投  
左打/遊撃手



HARUKI FUJITA  
学法石川高/福島県出身  
184cm・85kg/右投  
右打/遊撃手



REO HOSHIDA  
八千代松陵高/千葉県  
出身  
168cm・65kg/右投  
両打/遊撃手

岡田傑

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

佐藤虹輝

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

下迫圭太

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

藤田春樹

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

星田嶺央

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]



HAYATO YAMAUCHI  
大阪商業大学堺高/大  
阪府出身  
181cm・74kg/右投  
右打/遊撃手



KAIYA YAMANO  
福岡大学附属大濠高/  
福岡県出身  
184cm・81kg/右投  
左打/三塁手



IZUHO WATANABE  
御殿場西高/静岡県出身  
169cm・87kg/左投  
左打/一塁手



KAITO UCHIHARA  
岡山芸芸高/沖縄県  
出身  
178cm・70kg/右投  
左打/遊撃手



YOSHIHIKO OHASHI  
宇都宮工業高/栃木県  
出身  
188cm・86kg/右投  
左打/一塁手

山内勇人

医療技術学部スポーツ医療学科  
[2年]

山野凱也

医療技術学部スポーツ医療学科  
[2年]

渡邊出帆

経済学部経済学科  
[2年]

宇地原海斗

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]

大橋慶久

医療技術学部スポーツ医療学科  
[1年]



# 硬式野球部 施設紹介



帝京大学八王子キャンパスから車で1時間の場所に硬式野球部員が4年間を過ごすグラウンド、合宿所がある。部員全員が過ごしやすくと話す合宿所。練習するのに不便がないグラウンドと室内練習場。その全貌を主な1日の流れとともに紹介しよう。



オンとオフのメリハリがつき、文武ともに充実

實川剛(医療技術学部四年)



昨年までは自分がかまが寮長のような大役を任されるなんて思っていませんでした。寮での生活は快適です。グラウンドも近いし、施設も充実しています。

八王子キャンパスまでは硬式野球部専用のバスで1時間くらい。平日の朝は7時35分に寮を出発して授業に向かいます。帰りのバスの時間も決まっているので、授業がないときや空き時間ができたときは、図書館や学習室を利用することが多いです。

全体練習が終わったあと僕は、グラウンドに残って自主練習をすることが多いです。その後、夕飯を済ませ室内で素振りをしたりトレーニングルームでウエイトやストレッチをしたり1時間くらい自主練習をしてから、お風呂に入ります。そのあとは、部屋でYouTubeを見たりしてゆっくり過ごしています。

寮生活の良いところは、みんなと同じ生活をしているので一体感が生まれ、チームワークが向上します。「やるべきはやさ」というような、オンとオフの切り替えがしかりできますね。

## 硬式野球部員の主な1日



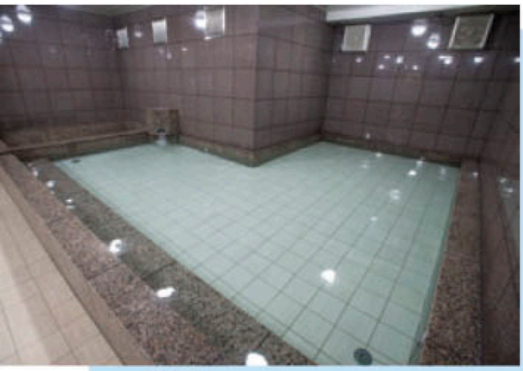
**遠征バス**  
地方遠征や八王子キャンパスへの移動に使用するバス。



**ミーティングルーム**  
部員全員が着席できるミーティングルーム。プロジェクターが備え付けられており相手チームの研究もはつち。



**食堂**  
朝食と夕食は食堂で、夕食はバイキング形式になっていて、必要な量を各自で取る。



**大浴場**  
入浴施設のような広さの大浴場で気持ちも体もリラックス。冷風呂も用意されており、試合の多い夏場は交代浴で、体のケアも可能だ。



**ランドリー**  
合宿所内には全28台の自動洗濯機が設置されている。部員3人で1台を管理しているため練習後の洗濯も混雑しない。



**クローゼット**  
人が2、3人すっぽり入れる広さのウォークインクローゼットが各部屋に。

**個室**  
学生が使用する個室は18畳とかなり広め。基本は相部屋仕様だが、仕切りがあるので互いのプライベート時間をしっかり持てる。



**全身鏡**  
3人が同時にバットを振っても邪魔にならないゆったりした広さ。投手はこの場でシャドーピッチングを行う。

**トレーニングルーム**  
数多くのマシンが並ぶトレーニングルーム。専属トレーナーの指導のもと、選手のフィジカル面をサポート。学生の故障回避にも一役買っている。



**室内練習場**  
人工芝を敷いている室内練習場。4カ所同時のフリーバッティングが可能。投球練習用にマウンドもある。

専属トレーナーが指導!



**超音波マッサージ**  
日々の練習の疲労をとり、炎症をおさえるマッサージ。



**ストレッチ**

全体練習後は自由時間を使っての自主練習が可能。マシン、ティーなど打ち込みに最適。

## 硬式野球部グラウンドのご案内



- 専用グラウンド  
両翼93m、中堅120mの専用グラウンド。8基の照明が完備し、薄暮時や夜間練習でも使用することができる。
- ・大月方面から  
相模湖Cより合宿所まで……………約30分  
グラウンドまで……………約35分
  - ・東京方面から  
相模湖東出口より合宿所まで……………約20分  
グラウンドまで……………約25分



- 電車での行き方
- ・東京駅～相模湖駅まで  
東京駅～高尾駅(JR中央線快速)……………約80分  
高尾駅からひとつ目 相模湖駅下車(JR中央線)……………約20分
  - ・相模湖駅～寸沢湖バス停まで(バス)……………約20分
  - ・バス停～硬式野球部合宿所まで(徒歩)……………約10分
  - ～グラウンドまで(徒歩)……………約10分







## 「甲子園球児」の体が年々変わっている。 「強制」から「自主性」で変わる体づくり

スポーツライター 大利実

智弁学園の初優勝で幕を閉じた第88回選抜高等学校野球大会。実は近年、甲子園球児の体が年々大きくなっているのを知っているだろうか。

高校の現場に取材に行くと、「マイナス100をめざしている」との声をよく耳にする。「端脚100ハゲ」の計算式のこと、175センチであれば75キロ以上の体重をめざすということだ。

この数字をひとつの基準にすると、今春の甲子園ではベンチ入りメンバーの40・17パーセントがクリア。私が調べ始めてから、40パーセントを超えたのは今年が初めてだった。34年前の1982年夏は9・39パーセント、「松坂世代」と呼ばれる1998年夏であっても16・25パーセントしか突破していない。

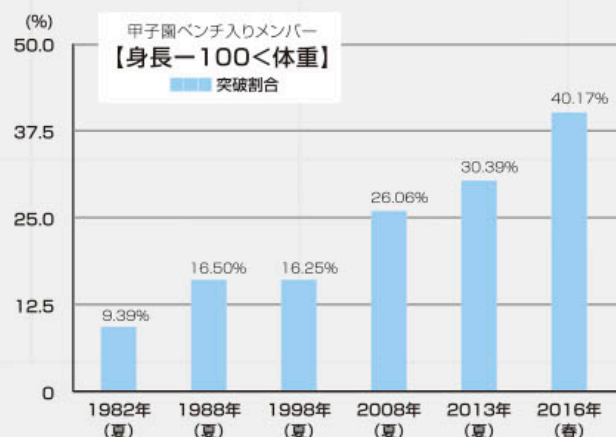
突破率が上がっているのは、食事やトレーニングに力を入れる学校が増えたため。これを読んでいる高校球児の中にも、取り組んでいる選手が多そうだ。

ただ、高校時代はどちらかといえば「強制的」な側面も大きい。学校によっては、決められたご飯の量を食べ終わるまで練習に参加できないところもあり、食べることに練習という考えに基づいている。

では、大学はどうかというと、高校のように強制的な学校は少なく、自ら考えて取り組める環境にある。そして、これがプラスに出る選手もいれば、マイナスになる選手もいる。やらされることに慣れていて、いわゆる「指示待ち」の選手は、自ら主体的に動くことがなかなかできないのだ。

唐澤良一監督は「最終目標をどこに置くかで、野球に対する取り組み方が変わってくる」と話している（P67参照）。

これは、体づくりにおいてもあてはまることだろう。高い目標を持ち続けていけば、食事を含めた日々の生活が質の高いものとなる。コンビニで何かを買うにしても、甘



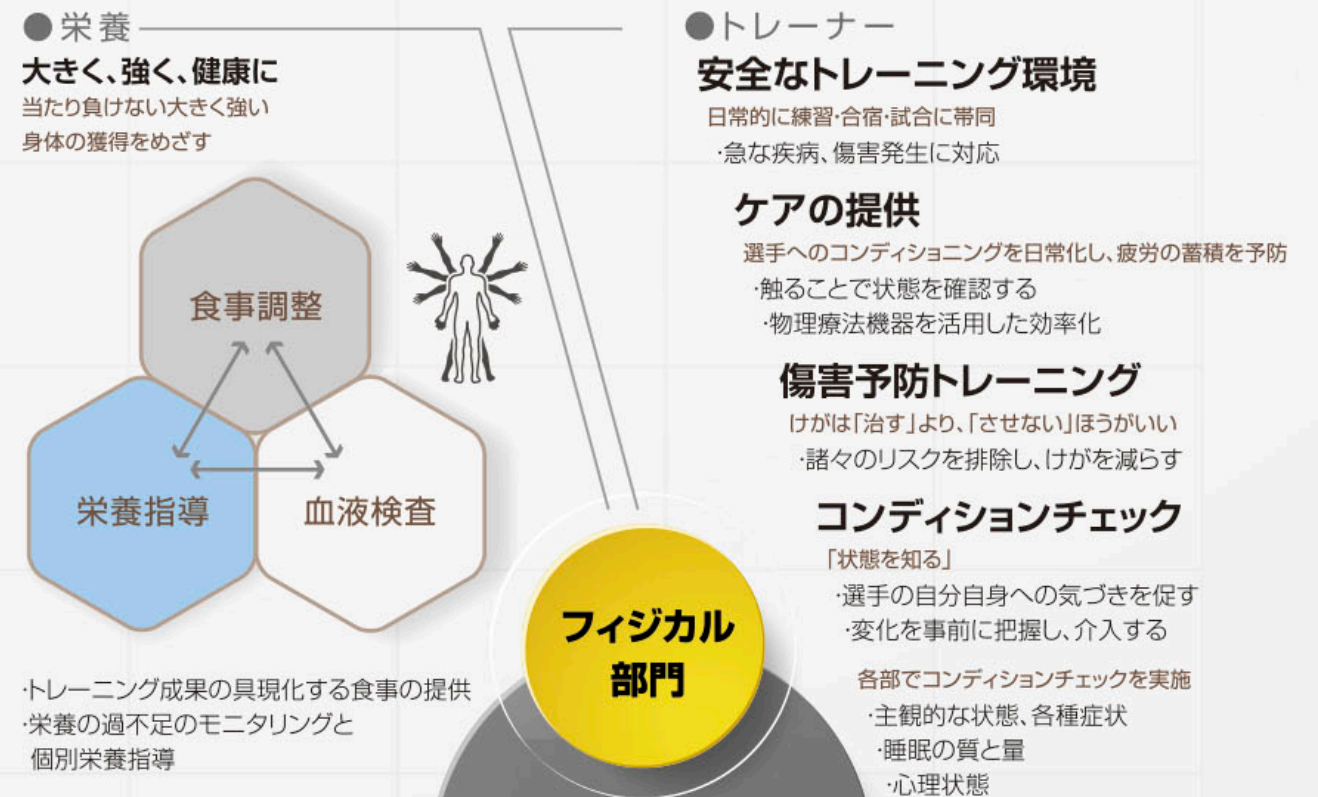
い菓子パンではなく、筋肉を作る栄養素のひとつであるタンパク質が入った食べ物を意識的に買うようになるかもしれない。また、風呂上がりのストレッチを毎日続けるだけでも、体は変わっていくものだ。

誰かにやらされるのではなく、自らの意志で動く。この取り組みができれば、体も心もきっと成長していくはずだ。

学生を安全に、健康に、強くする

## 帝京大学 **スポーツ医科学センター** とは何か

硬式野球部を含めた各クラブをサポートするスポーツ医科学センター。2011年4月に設立され、メディカル・サイエンス・フィジカルの3方面から、学生がより安全に、より健康に、より強くなれるよう日々取り組んでいます。



### スポーツ医科学 トータルサポートシステム センターの強み



#### PROFILE

大利実 おおとしみのる  
『野球太郎』『中学野球太郎』『ヒットエンドラン』などで執筆。単行本『高校野球 神奈川を戦う監督(おとこ)たち』など著書多数。





提供：帝京スポーツ新聞部

# 彼はこうして過ごしプロへ巣立った

## 阪神タイガース入団 青柳晃洋の「心技体」

(2015年度卒)



硬式野球部専属トレーナー 内田幸一

私が帝京大学スポーツ医学センターに入って、硬式野球部のサポートを始めたのは青柳選手が二年生のときでした。そのときの彼の印象はどちらかというと我が強い性格。ただ、親孝行ができる一面も持っている。必ず良い方向に変わっていったので、必ず良い方向に変わっていった。子だなどとは当時から思っていました。

彼の場合は目標がしっかりありました。最終的に「プロへ行く」という目標ですけれども、彼は彼なりにいろいろと考えていました。たまたま脱線してしまっただけも自分から「こんなことを考えていました」とさらけ出してくれたので、そういう意味では在学中にたくさん建設的な話があったと感じています。彼と私が考える理想のフォームに対して、今はこういう動きをしていこうとか、ここを鍛えていこうとかそういう話です。

また彼の場合は三年生のときに手術をしています。それまで取り組んできたことがほとんど拍子で良くなってきた矢先でした。あのときは本人の希望で「春のリーグ戦は投げさせてほしい」という話があったので、医学センターにいるドクターとも連携をとって、ここまでは大丈夫と話をして、春は投げさせたのですが、それができたのも医学センターの力がすごく大きかったです。私、私も安心してここまではやろうと考えることができました。手術自体は「クリーニング手術」と言われる骨を削る簡単なものでした。復帰まではある程度、時間を使っただけでリハビリをしましたが、秋のリーグ戦の最終戦にはなんとか間に合った感じでした。ね。復帰後はこちらから「あれをしよう」

# 4年間、



帝京大学硬式野球部OB会会長 鈴木好敏

今年も、春の訪れとともに、2016年度首都大学野球連盟のリーグ戦開催を、心待ちにしているのは、私だけではないと思います。帝京大学硬式野球部選手スタッフはもちろんのこと、ご家族、大学関係者各位、そして多くの帝京ファンが、今年こそその思いを込めて、きっと待ち望んでいることでしょう。

さて、昨年のチームスローガンというのでしょうか？グラウンドセンター後方に、「感謝の勝利への恩返し」と書かれた看板が目に入りました。そして、今年も「レボリューション」だそう。ご承知の通り「革命」や「大変革」という意味ですが、まさに現硬式野球部にヒッター

「これをしよう」と提案もしましたけど、意志の強い選手なので、そこは彼の意志を尊重しながら仕上げをしました。

この先、プロに入ってどこかで壁に当たるかもしれないが、それを乗り越えて素晴らしい選手に育っていくと思います。今でもたまに電話が来ますけど、なんとか頑張ってもらいたいですね。

## 「過去から学び 新たなチャレンジを！」

なキーワードだと思います。今年の「春のリーグ戦」から、8チームが、また6チームに戻ったことや、何よりもここ数年間活躍した西村・青柳両投手の2枚看板が卒業したことにより、戦略・戦術を当然変えなくてはならないでしょうし、創部50周年という節目に「優勝」というプレセントを得るためには、「レボリューション」がまさに必要と感じるからです。

しかし、「革命」・「変革」は、必ず混乱を起こします。変わるという事は、相当な力量が必要になります。個々のスキルアップのため、目標管理システムを構築し、またチーム内の意思統一を図ることにより、ただ単に過去を否定することではなく過去に学び、未来に希望を持って新たなチャレンジをすることが大事と考えます。そのた

### Point 1

学生にまず目標を持たせる

私は学生に、まず目標を持たせるようにしています。今やっているトレーニングは何のためにしているのか、それを学生にも理解してもらおうと、日々のつらいトレーニングも楽しく変わっていくのではと考えています。自分の体が良い方向に変わったと実感し、自分のめざすゴールに一歩ずつ近づいていけるよう、学生の心の動きとの運動を常に大切に考えています。

### Point 2

自己管理ができる学生に

自己管理ができるかどうかはチェックします。普通に食事をして、普段の練習をこなしていれば、あまり太ることはありません。それでも太るのは間食でお菓子を食べたり、普段の生活に何か問題があるケースが多い。また、自己管理を怠る学生だとトレーニングやメンタルの話をしてあまり響かないケースが見られます。その場合はタイミングを図ってコミュニケーションをとるように心がけています。

### Point 3

指導は学生と「付かず離れず」

学生との接し方は「付かず離れず」で、質問には常に答えられるスタンスをとっています。当然、日頃から観察していないと、その答えを出すことは不可能なので、準備はあらかじめしておきます。大学野球の場合、最終的には自分で考え、自分で答えを出すのが重要です。なので、頭ごなしに「あれをやれ」「これをやれ」とは言いません。距離感を非常に大切に考えています。

内田トレーナーが指導で意識する3つのポイント

大学生もやっている

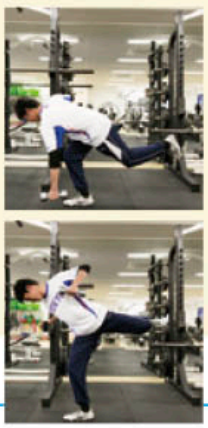
自分でできるかんたんトレーニング

#### ●オリムピックスクワット



150センチくらいの棒を1本用意します。足は肩幅に開き、つま先はやや外側へ向ける。体幹は真っ直ぐに。やや上を向いて腰を落とすイメージで行う。肩甲骨の内側も鍛えられます。

#### ●立位股関節内外転



股関節を安定させるために、内側の筋肉と外側の筋肉を鍛えるのがこのトレーニング。体のラインから内側に入れば内転、外側に入れば外転で、ここでは足を浮かせて骨盤を使い、内転と外転を鍛えます。できれば体をTの字の状態に近づけて動かすのが理想です。



#### ★ポイントが

正しい姿勢  
間違った姿勢



#### ★ポイントが

骨盤が内腿に向かうようにする。これができてしまつと効果がなくなる。

### 卒業後の主な進路

#### ■プロ野球へ進んだOB

- 益山 性旭 (1976年卒→阪神・投手)
- 佐藤 康幸 (1994年卒→中日→広島→中日・スタッフ)
- 愛敬 尚史 (1998年卒→近鉄→東北楽天・投手)
- 里崎 智也 (1998年卒→千葉ロッテ・捕手)
- 窪田 淳 (1999年卒→阪神→オリックス・投手)
- 山本 賢寿 (2003年卒→巨人・投手)
- 青柳晃洋 (2015年卒→阪神・投手)

#### ■独立リーグ

北信越BCリーグ(石川ミリオンスターズ、高山サンダーバース)

#### ■社会人野球

鷺宮製作所、新日鐵住金かずさマジック、新日鐵住金東海REX、新日鐵住金鹿島製作所、西部ガス、西濃運輸、東京ガス、東芝、日本新薬、JX-ENEOS、日本通運、ニチダイ、日立製作所、七十七銀行、富士重工業、パナソニック、ミキハウス、明治安田生命、三菱重工名古屋、ヤマハ、JR東日本、JR東日本東北、NTT西日本、NTT東日本、茨城ゴールデンゴールズ、熊本ゴールデンラークス、ハイタルネット、シティライト岡山、王子製紙、ジェイプロジェクト、エナジック、三菱自動車岡崎、オールフロンティア ほか

#### ■軟式野球

佐藤薬品工業、京葉銀行、常陽銀行、東芝情報機器、旭鋼管工業、ベスト、キャプティ、日立オートモティブ厚木、青梅信用金庫、千葉銀行、城北信用金庫、リコーロジスティクス、静岡ガス、SGシステム、三洋電機、サンリツ、東京ガスファーストエナジー、宮後工業、ニデック、日本医療企画、カワダ、横浜信用金庫、SGフィルダー ほか

#### ■2015年度卒業生の主な就職先

岡村製作所、スズケン、テラル、パラマウントベッド、A-Dining、ANAエアポートサービス、MDI





TEIKYO

帝京大学

仲間と共に、スポーツの力で多くの人に感動を…  
私たちは帝京大学です。

- 「自分流」で学べる10学部
- 【医学部】医学科 【薬学部】薬学科
  - 【経済学部】経済学科 / 地域経済学科 / 経営学科 / 観光経営学科
  - 【法学部】法律学科 【文学部】日本文化学科 / 史学科 / 社会学科 / 心理学科
  - 【外国語学部】外国語学科 【教育学部】教育文化学科 / 初等教育学科
  - 【理工学部】機械・精密システム工学科 / 航空宇宙工学科 / 情報電子工学科
  - バイオサイエンス学科 / 情報科学科 (通信教育課程)
  - 【医療技術学部】視能矯正学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 臨床検査学科 / スポーツ医療学科 / 柔道整復学科
  - 【福岡医療技術学部】理学療法学科 / 作業療法学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 医療技術学科
- 全国に広がる5つのキャンパス
- 八王子キャンパス / 板橋キャンパス / 宇都宮キャンパス / 福岡キャンパス / 霞ヶ関キャンパス

帝京大学 <http://www.teikyo-u.ac.jp>



### 帝京大学硬式野球部 イヤーブック2016 2016年4月発行

**編集**  
永田遼太郎

**撮影**  
川本聖哉

**デザイン**  
伊藤博樹 (イトワークス)

**進行管理**  
河村圭佑 (スリーライト)

**印刷**  
スリーライト

**写真提供** [P28・青柳選手の写真]  
帝京スポーツ新聞部  
小野寺惇

**発行**  
帝京大学本部 広報課  
東京都板橋区加賀2-11-1  
<http://www.teikyo-u.ac.jp>  
本誌掲載記事、写真等の無断複写・複製・転載を禁じます。  
© TEIKYO UNIVERSITY 2016



#### From EDITOR

例年だと春季リーグの開幕に合わせて作っていたこのイヤーブックが、今年はリーグの開幕が例年より早まったこともあり、開幕後の発行になりました。昨年のチームから西村、青柳の2枚看板が抜けて、今年はチーム全員で勝ち抜くそんなシーズンになると思います。春の踏ん張り、秋の飛躍につながる。そんな1年を期待しています。(N)



帝京大学 硬式野球部ホームページ

最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<http://baseball.teikyouuniv.jp/>

帝京大学 硬式野球部

# HACHIOJI CAMPUS RENEWAL

## 八王子キャンパスリニューアル

### 最新の施設、設備で学生をバックアップ。 八王子キャンパス新校舎棟「SORATIO SQUARE」誕生!

帝京大学八王子キャンパスでは、キャンパスリニューアルの一環として、地下2階、地上22階の免震構造を採り入れた新校舎棟を建設中です(1期完了)。  
新校舎棟「SORATIO SQUARE」は、太陽光発電装置の導入や地熱利用等、省エネに配慮しながら、多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体的にデザインすることにより、帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表現しています。



#### SORATIO SQUARE ソラティオ スクエア 宙 × 理性 = 可能性 SORA RATIO

SORATIOとは、果てしない大空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「SORA(宙)」と、ラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語で、帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また、高層部・低層部から成る建物群をSQUARE(広場)として捉え、「SORATIO SQUARE(ソラティオ スクエア)」と名付けました。

**I期** 2015年5月完成  
一般教室のほか、音楽室や模擬授業室等の各種実習室やアクティブラーニング教室を設置。一般教室では、教員と学生の一体感を持った授業の展開のため、少人数制の教室を90室程度設置しました。また、グループ学習室を備えた、常設PC設置空間を作り、学生の主体的学びを支えています。さらに、女性専用ラウンジや地下1階には大学博物館を開館しました。

**II期** 2017年11月完成予定  
(2018年4月使用開始予定)  
一般教室のほか、1,000名を収容できる大ホール、席数1000以上の学生食堂を設置します。観覧席を備えたアリーナ棟は、バスケットボールコート、バレーボールコート等を設置する予定です。